

第2期秦野市観光振興基本計画（改定案）に対するパブリック・コメントの実施結果について

1 意見募集期間

令和8年2月1日（日）から3月2日（月）まで

2 意見募集の周知方法

広報はだの2月1日号、市ホームページ及び市公式LINE

3 計画案の公表方法

- (1) 市ホームページへの掲載
- (2) 公民館、図書館及び駅連絡所における閲覧
- (3) 本庁舎行政情報閲覧コーナーにおける閲覧
- (4) 観光振興課における閲覧

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール、電子申請及び持参の方法による

5 提出された意見の内容及びその取扱い等

内容分類	件数	意見等への対応区分（※）				
		A	B	C	D	E
第1章 計画改定の趣旨	0	0	0	0	0	0
第2章 本市観光の現状	4	0	1	1	0	2
第3章 計画における重点的 取組の視点	3	2	0	1	0	0
第4章 施策の展開	10	2	0	7	1	0
第5章 計画の推進体制	2	1	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	0
計	19	5	1	10	1	2

※ 意見等への対応区分

- A：意見等の趣旨等を計画案に反映したもの
- B：意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
- C：今後の取組において参考とさせていただくもの
- D：計画案に反映できないもの
- E：その他（感想、質問等）

「第2期秦野市観光振興基本計画(改定案)」に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・御提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
1	第2章	13	グラフの日帰りの入込観光客数は、平成30年が3,697千人、令和6年が4,550千人、関連計画である策定中の「ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画案」のP10には、本市の入込観光客数と観光消費額の推移がある。平成23年～平成29年までの状況を比較すると、平均で観光消費額が5倍、入込観光客数が約2倍以上になっている、その理由について分析をされているのか。	E	神奈川県観光振興対策協議会が示す「神奈川県入込観光客調査実施要領」に基づき、平成30年から調査対象施設にゴルフ場、温浴施設、農産品の直売所等を追加したことにより、入込観光客数及び観光消費額が増加したものです。
2	第2章	21	現行計画の38施策について、何が整備され、どのようなことが課題なのか、分かりやすく進捗状況や課題が示されており良いと思う。他の行政計画においても参考にしてほしいと思う。ただし、それぞれの事業について何らかの課題はあるはずなので「今後に向けて」などの記述を追加すると更に良いと思うがどうか。	B	現在の進捗状況を確認した38施策については、完了した施策を除き、第4章「施策の展開」において、一部統合し、33施策としたうえで、今後に向けた取組を掲載しています。
3	第2章	28	観光消費額の伸び悩みが課題として挙げられているが、飲食の消費については、伸ばしていける可能性があると考え。中でもジビエはポテンシャルがあり、鶴巻温泉地域を中心に様々な取組をしていただいているが、物珍しさで消費されることに留まらず、ファンを獲得し、リピートしていただけるよう、積極的に取り組んでいただきたい。	C	御意見を参考に、飲食における観光消費の促進に努めます。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)

「第2期秦野市観光振興基本計画(改定案)」に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・御提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
4	第2章	28	「丹沢や名水などの「豊かな自然環境がある」イメージが多数を占めています」とある。また、「課題」として「自然環境を生かした施策の検討」、さらに「食」に焦点を当てた施策の検討」とある。「丹沢」と「名水」は、先人が守り育て上げてきた歴史があるが、本市の観光のコンセプトや施策にどのように反映されているのか。	E	本計画のコンセプトは、「自然豊かな観光資源を生かした地域経済の活性化」としており、「丹沢」や「名水」を含む自然豊かな観光資源を生かすこととしています。また、施策については、「山岳観光の推進」や「名水の活用」などを位置付け、「丹沢」と「名水」の魅力を生かした観光振興を図ることとしています。
5	第3章	29	「平成7年に建設省(現在の国土交通省)の観光政策審議会答申において、「観光」とは、「余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行う様々な活動であって、触れ合い、学び、遊ぶということを目的とするもの」と定義されています」とあるが、的は外れていないが内容が抽象的で少し古い引用ではないかと思う。このようなコンセプトでは地域経済とどのように結び付けていくのは至難の業ではないかと思う。 観光は裾野の広い成長産業といわれて久しい。観光庁は、2026年度からの第5次観光立国推進基本計画の策定に向け、観光の意義を「地域活力を維持し、海外との双方向交流で国際相互理解を促進するもの」と定義している。また、「基本計画案」では、目指す姿を、地域住民と観光客双方の満足度の向上、交流人口・関係人口の拡大、国際相互理解の促進、「働いてよし」の観光産業の実現によって日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させるものとした。そのうえで、施策の3つの柱として「インバウンドの受入れと住民生活の質の確保との両立」「国内交流・アウトバウンド拡大」「観光地・観光産業の強靱化」を掲げている。成長産業にしていくためには、本市の観光が占める域内収支の把握から市税収入への跳ね返りがどれくらいあるのか検証すべきと思うがどうか。	A	御意見を踏まえ、修正します。 また、観光振興による域内収支の把握については、45ページの個別施策「①観光客による経済波及効果の分析」において、その算出手法も含め、研究します。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)

「第2期秦野市観光振興基本計画(改定案)」に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・御提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
6	第3章	31	「山岳観光」「里山観光」「まちなか観光」と3つの観光スタイルを定義し、ターゲットを絞った施策を展開することは良いことだと思う。「若年」「中年」「高年」「家族」と4つの構成要素ごとに重点的、積極的に誘致を図る客層が示されているが、「重点的」「積極的」という表現が今ひとつ分かりにくい。それぞれを「◎:特に力を入れて呼び込む層」「○:あわせて積極的に誘う層」のようにしてはどうか。	A	御意見を踏まえ、修正します。
7	第3章	32	改定のポイントとして、「まちなかへの周遊促進」と「食を生かした観光振興」との記載があるため、その効果を図るためにも「観光消費額の推移」については全体で測るのではなく、「飲食ベース」でも効果を図る必要があると考える。	C	50ページの推進体制では、各施策について、「進行管理シート」を作成することとしていますので、進行管理の中で、飲食に係る効果測定を検討します。
8	第4章	34～48	【施策1.観光資源の魅力向上】及び【施策2.観光サービスの充実】、【施策3.受入体制の強化】、【施策4.プロモーションの充実】には、課題が抽出されているものと、抽出されていないものがある。統一感がないので再調整すべきと思うがどうか。	D	個別施策については、今後の取組を記載しているものですが、必要に応じて課題や目的等も記載しています。
9	第4章	35	【施策1.観光資源の魅力向上】では、市内の主要観光スポットが挙げられているが、来訪者は、写真映えのスポットを求める傾向にあることから、その視点も意識しながら整備を進めていただきたい。	C	御意見を参考に、写真映えするスポットの創出に努めます。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)

「第2期秦野市観光振興基本計画(改定案)」に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・御提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
10	第4章	36	弘法山公園や震生湖など、各観光スポットの取組が掲げられているが、それらをネットワーク化し、相乗効果を図る視点も必要である。	A	御意見を踏まえ、41ページの個別施策「②周遊観光の充実」を修正します。
11	第4章	37	「まちなか観光の推進」に、現在取り組んでいる「秦野駅北口周辺」も位置付けてはどうか。	A	御意見を踏まえ、施策を追加します。
12	第4章	38	「名水の活用」について、「おいしい秦野の水」のラッピング自動販売機を多くの観光客の目に留まるスポットに設置し、PRしていただきたい。	C	御意見を参考に、名水のPRを進めます。
13	第4章	39	「食を生かす」施策については、4駅ごとに特色のある食を打ち出すと、より効果が高い施策となると考える。	C	御意見を参考に、食を生かした施策を進めます。
14	第4章	39	「食を生かす」施策については、食の中でもどのようなジャンルが伸びているか調査・分析し、データに基づく方策を検討いただきたい。	C	御意見を参考に、食を生かした施策を進めます。
15	第4章	44	OMOTANガイドや森林セラピーガイドが仕事として成り立つよう、市がしっかりとサポートをしていただきたい。例えば、神奈川県職員や一般企業の従業員の体験型の福利厚生として活用するなど、サービスをメニュー化し、ガイドが稼働していける仕組みづくりを検討いただきたい。	C	御意見を参考に、市民ガイドの充実を図ります。
16	第4章	47	効果的な情報発信について、テレビや雑誌などに取り上げられると効果的であることから、メディアに取り上げられてもらえるような方策も検討いただきたい。	C	御意見を参考に、効果的な情報発信に努めます。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)

「第2期秦野市観光振興基本計画(改定案)」に対するパブリック・コメントに寄せられた御意見・御提案等

No.	該当箇所	該当ページ	御意見・御提案等の概要	区分	御意見等に対する考え方
17	第4章	47	インフルエンサーを活用した広報宣伝は、効果が高いことから、引き続き、積極的に取り入れていただきたい。	C	御意見を参考に、効果的な情報発信に努めます。
18	第5章	50	「関係部局間との調整などを行い、「進行管理シート」を作成し、施策の進捗を確認するとともに、課題を整理します」とあるが、第2期秦野市観光振興基本計画(案)を策定されるまでの庁内の関係部局間とどのような調整があったのか、政策決定に至る透明性を担保するための議事録の抜粋等を掲載すべきではないかと思うがどうか。	A	御意見を踏まえ、参考資料として、「計画改定の経過」を掲載します。
19	その他	—	「自然豊かな観光資源を生かした地域経済の活性化」を実現するために4つの基本施策が示されている。「はだので体験できるコト」を通して地域経済の活性化を目指す更に先に、本市への移住定住や労働へと「はだので生活できるヒト」を増やすことへと繋げてほしい。よって、プロモーションには「来訪」「体験」「感動」を前面に出しつつ「秦野で暮らす」というメッセージを届けられるような施策を期待する。	C	今後の取組の参考にさせていただきます。

【区分】

A:意見等の趣旨等を計画案に反映したもの B:意見等の趣旨等は既に計画案に反映されていると考えるもの
C:今後の取組において参考とさせていただくもの D:計画案に反映できないもの E:その他(感想、質問等)